つばさ TSUBASA

令和７年度 生涯学習課だより

第397号（５月）

放課後子ども教室 ホウカGO! 活動報告

野外で体感できることを

ホウカGO！では、町内の豊かな自然に触れる活動を取り入れており、春から秋にかけては、野原や川、海に棲む生きもの探しへ出かけています。

地域の方のご協力のもと、昨年度は公民館近くの山林にて、秋は木の実やきのこなども観察、冬にはスノーシュー散策を行いました。同じ森でも季節によって表情が変わることを体感することができました。

また、潮が引いているときには、海浜公園やベンベ川河口を訪れます。石の下からカニを探したり、足をうまく使って魚を網に追い込むなど、慣れない様子の子も多いですが、何事も経験です。

生きものと対面する子どもたちの姿は、とても生き生きしています。

観察後の生きものは、必ず元にいた場所へ戻します。

生きものは無駄になることなく森の栄養となり、周囲の川、そして海とつながり、関わりあっています。

生きものの観察を通して、生きもの同士の「食べる」「食べられる」のつながりや、昔からその地域にいる在来種、また人が持ち込んだ外来種問題などを学ぶことは、私たち人間との関わりについて考える機会となっています。

貫気別川を遡上する鮭の観察は、生きもの同士のつながりを身近にすることのできる貴重な時間です。その後に座学を行い、学びを深めることも大切にしています。

facebook Instagram

毎週の活動はSNSでご覧いただけます。

豊浦町　放課後子ども教室　検索